

学校運営計画（4月）				評価	
学校教育目標		地域共創の理念の下、校訓「向学、忠恕、壮健」を教育指針とし、「志をもって意欲的に学び、自律心と素直さそして思いやりの心を持つ、逞しい生徒」を育成する。			評価
昨年度の成果と課題		本年度重点目標		具体的目標	
【成果】 ○創立10周年に係る行事を通して、生徒会活動の自主的・創造的な取組が多くみられるようになった。 ○「新たな学びプロジェクト」の成果を教師間で共有し、指導方法を統一したことが主体的な学習姿勢の育成につながった。 ○ボランティアや生産物販売実習などの地域貢献活動により本校生への評価が高まった。 ○学校紹介動画やWeb広告を積極的に活用し、本校のイメージアップを図ることができた。 【課題】 ○「鍛ほめ光陽メソッド」、個の能力に応じた学習指導の推進 ○地域で活躍できる人材へのレベルアップ ○地域貢献活動や道徳教育のさらなる充実 ○志願者確保につながる広報活動の展開・工夫	魅力ある学校づくりのための制度改革に取り組む。		○教育課程の特色化を図るとともに、「日本一楽しい、美しい、元気な学校」を実現する。		
	授業改善に積極的に取り組み、自ら学ぶ意欲を喚起させ、確かな学力の育成を図る。		○「主体的・対話的で深い学び」を実現し、生徒が学びの成果を実感できる朝倉光陽バージョンを確立する。		
	人権感覚を身に付けさせ、思いやりと感謝の心を育み、いじめの撲滅に取り組む。		○人権同和教育を推進し、人権感覚豊かな生徒の育成を行う。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、訪問相談員と連携し、個に応じた指導を充実する。		
	「鍛ほめ光陽メソッド」の指導方法を確立し、生徒の生きる力と可能性を伸ばす。		○生徒が主体的にチャレンジし続けることができるよう、達成目標にそった学習プロセスを評価しながら学習支援を進めていく。		
	危機管理体制を強化する。		○生徒理解を深め、生徒の変化に素早く対応するとともに、日常の「安心・安全」な教育環境及び予期せぬ自然災害等にも対応できる体制を整える。		
	広報活動を充実させる。		○中学校の生徒、保護者及び教師からの視点に立ち、本校の魅力と強みを効果的に広報していく。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	数値目標	評価（3月）	今後の主な課題
学校経営	学校教育目標及び本年度の教育重点目標の具現化に向けて、経営にあたる。	魅力ある学校づくりのための制度改革に取り組む、「日本一楽しい、美しい、元気な学校」を実現し、生徒アンケートにおける学校生活満足度を向上させる。 「福岡県立高校『新たな学びプロジェクト』」の研究開発校としての成果を活かし、生徒が主体的に学ぶ教育活動を推進するとともに教員の資質向上を図る。 生徒理解および進路実現のための個人面談を継続的に行い、生徒のキャリア意識を計画的、体系的に醸成する。	10P アップ   個人面談 4回以上		
	定員割れの解消を最大の課題ととらえ、地域の信頼と期待に応えられる学校経営を目指す。	中学校に本校の教育内容を理解してもらい取り組みを推進する。中学校訪問を計画的に実施し、出前授業も積極的に行う。 本校のPRのための広報紙、動画等を作成し、本校の魅力をダイレクトに伝える広報物による中学校への説明会を行う。 保護者や関係機関との連携強化により、中退者や問題行動を減らし、地域からの信頼を高める教育活動を実践する。	出前授業 学期1回 以上   中退者0		
教務	基本的生活習慣と学習態度の確立	進路指導部や学年団と連携して遅刻指導を行ない、生徒の出欠状況の早期の把握に努め、安易な遅刻・欠席をさせない指導を行う。 図書研修部と連携し、授業規律を意識させるため具体的な生徒の姿を明確にして、学習に取り組む態度の確立を目指す。 成績会議の充実を図り、成績不振者に対して早めの指導を励行し、補講・追試者の減少を目指す。	年5回		
	授業の充実と自ら学ぶ意欲の喚起	進路指導部と学年団と連携し、総合的な探究の時間の指導計画の充実を図り、自ら学ぶ意欲の喚起に寄与する意識の強化に努める。 生徒の具体的な姿の明示や明確な指示に努め、指導と評価の一体化をめざし、生徒が主体的に取り組むやすい、分かる授業作りを目指す。			
	校務の効率化と規定の見直し	部会を定期的に開催し、各学年、各部、各教科に対して、先を見通した提案を心がけ、連絡調整の円滑化及び連携の強化を図る。 教務規定の見直しや出席簿・指導要録マニュアルを作成し、業務の円滑化を図る。	月1回		

生徒指導	規範意識の育成	登校指導を通して、生徒の変化に早急に対応し、挨拶の励行や服装指導に努める。 全職員の共通理解のもと、カード指導を徹底し、制服の着こなし向上を目指す。 全校集会を通して、規範意識を高め、安全で安心できる学校づくりを目指す。 中学校訪問を通して情報交換を行い、問題行動や中途退学防止に努める。 アルバイト規定や免許取得規定などを遵守させ、規則を守りつつ社会勉強を行わせることで、社会に出て通用する人に育てる。 生徒指導規定や生徒会会則などの様々な規定を見直し、指導や業務の効率化を図る。	月1回				
	生徒会活動の活性化	部活動の加入率向上を目指し、生徒一人一人が充実した生活を送ることができる環境づくりに努める。 生徒会を中心に、委員会活動や文化祭、体育祭等の学校行事の活性化を図る。					
進路指導	7年連続進学・就職100%の希望進路実現を目指す。	計画的に進路関係行事を実施し、職業観の育成や進路意識の向上につなげる。 面接指導・敬語指導・SPI練習・模擬テスト・課外等の充実を図り、全員の進路実現を目指す。	各学年 5回以上				
	キャリア教育の充実	学年団と進路支援コーディネーターと連携し、早期の個別面談・相談体制を手厚く行う。 総合的な探求の時間検討委員会と連携を取り、効果が上がるキャリア教育の推進を図る。	個人面談 3回以上				
	個の希望に合った進学・就職の進路実現を図る。	コミュニケーション能力の向上や挨拶・礼儀作法に重点を置き、指導する。 外部講師によるセミナー等の全体指導と進路面談等の個別指導を強化する。	通年 各学年 3回以上				
図書研修	職員研修の充実	各分掌と連携して職員研修のテーマを精選し、校内研修会を実施する。 研修の成果や課題をまとめた研究紀要を発行し、振り返りを促す。	年5回 年1回				
	授業研究の推進	相互授業参観期間を設定し、授業力向上のための意見交流を促す。 評価方法に関する実践報告書を各教科で作成する。 ICT機器を活用した授業改善のための研究を進める。	年2回 年1回 通年				
	図書館教育の充実	図書委員会を定例化し、図書館だよりの発行などの活動を活性化する。 図書委員会による「朝の朗読」を通して、読書への興味を喚起する。	委員会月1回 発行年3回 学期2回				
	生徒の心身の健康管理と安全の保持	日頃より担任や教育相談担当者間で気になる生徒の情報を共有し、今後の対応を協議する。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、訪問相談員と連携し、問題を抱える生徒を支援する。	週1回 随時				
企画広報	美化意識の向上および教育環境の整備	美化コンクールやごみ分別徹底の呼びかけ等、美化委員会活動の活性化を図る。 掃除チェックリストを活用し、時間いっぱい掃除に取り組みせ、きれいな学校づくりをする。	年2回 随時				
	PTA活動の充実	杷木PTA連絡協議会の会場校として、杷木地域の行政機関や関係校との連携を深め、地域の子どもたちを育てていく関係をつくる。 健全育成委員と協力して花苗プランターを地元の中学校に配布し、地域の環境美化に貢献する活動をする。 親子進路学習会を実施し、親子で進路について考え、進路に関する有益な情報が得られる機会をつくる。	年1回 年1回 年1回				
	広報活動の充実	学校説明会を実施し、本校の魅力や強みを中学生やその保護者にPRする。 外部機関と連携・協力し、生徒募集につながる広報資料を作成する。	年1回 随時				
		ホームページを活用して、本校生徒の活躍の様子を発信する。	随時				

第1学年	基本的な生活習慣の確立及び生徒理解	挨拶、時間厳守の指導を徹底し、高校生としての生活習慣を確立する。				
		自ら確認し、物や時間の管理ができる習慣、自律心を育成し自己管理のできる生徒を育てる。				
		個人面談や学年指導を通して、学校や社会のルールを守り、マナーを身に付け、思いやりの心を育てる。	通年			
基礎学力の向上及び学習態度の育成	総合的な探究の時間を計画的に展開し、ライフデザイン力を高める。					
	授業規律を徹底し、教科担当者や学年団と連携し成績不振者へ早期より個別指導を行う。	各考查ごと				
保護者や中学校、SC、SSW等との連携	日頃の電話連絡や面談などを通して保護者との連携を図る。また、中学校やSC、SSWと生徒情報を共有し、中途退学防止に努める。	随時				
第2学年	主体的に考え、正しく行動できる生徒の育成	いろいろな事柄について表彰などを行い、自己肯定感を高める。	各学期			
		校内行事や修学旅行において、リーダー的役割を果たす生徒を育成する。				
	短期・中期・長期的ビジョンに基づく進路実現	学習時間調査などを行い、定期考査に向けて「良い準備」をさせる。	各考查ごと			
	総学やHRでの活動をもとに、明確な進路目標を設定させる。					
真心・思いやりの涵養	丁寧な「話し方」や適切な「(人との)接し方」を身に付けさせる。					
	SNS上のトラブルやいじめなどについて、養護教諭やSCなどと連携しながら、迅速な情報収集のもとに早期解決・改善に努める。					
第3学年	社会人基礎力の定着と最上級生としての自覚	進路を念頭に置き、挨拶や礼法等の基本的な生活習慣の改善と定着を図る	通年			
		学校行事をととしてリーダーとしての自覚を持てるようにサポートを行う	随時			
	進路希望の実現を図る	希望進路に応じた学習の機会を設け学力向上をめざす 進路指導部、学年や類型と連携し、面接指導や作文指導を行う 個別指導や面談をととして進路実現のために積極的な支援を行う	希望進路 100%			
保護者や関係機関との連携	家庭との連絡を密にし保護者との情報共有し協力と理解を得る	通年				
	SC、SSW、訪問相談員と連携をとり生徒の気持ちの安定を図り学校生活が円滑に行えるようにサポートを行う	随時				
食農科学科	進路実現を考えた特色ある学習活動を展開し、正しい職業観の育成を図る。	食農科の各類型における教育内容を具体化させる。	随時			
		農業クラブの活動を活性化させ、農業教育に興味関心を持たせる。 インターンシップ等を活用しながら、地域農業に貢献、進路実現に繋げる。	大会入賞 随時			
	地域共創の理念に基づき、学習成果を活かしながら、地域から愛され、活力ある農場づくりに努める。	「未来を切り拓く人材育成事業」等を活用し、専門教育を充実させる。 地元農産物を活用した新商品開発を推進し、農業教育を深化させる。 学校農場を活用しながら農業経営能力を向上させ、後継者育成に繋げる。	随時 1品以上 1名以上			
特別支援教育	特別支援教育に係る職員・生徒の理解を深める。	各学年の担当職員と情報を共有し、支援の必要な生徒への支援体制づくりを行う。	月1回			
	支援が必要な生徒に対して適切な対応を検討し、支援を行う。	支援が必要な生徒に対しては、担任やSC、関連する各分掌と連携しながら随時相談や支援を行う。 中学校、関係諸機関と連携を図り、集めた情報を基に分析を図り、生徒支援に役立てる。				
人権教育	人権・同和教育推進体制を確立し、生徒の人権意識の高揚を図る。	学年単位、クラス単位で人権・同和特設授業を行い、生徒の人権意識の高揚を図る。	年3回			
		学年や分掌と連携し、人権関係の各種研修会、学習会に積極的に参加し、教育活動の充実を図る。				
	生徒の実態を把握し、修学支援、進路保障の取り組みを進める。	中学校、関係諸機関、SSW、SC、訪問相談員と連携を図り、課題を有する生徒の情報収集と支援を進める。 いじめ対策教育相談委員会や生徒情報交換会をととして、全職員での生徒情報の共有化を図る。 「申合せ」違反等については、担任や進路指導部、ハローワークと連携を図り、進路保障の取り組みを進める。				